

小平市障がい児療育支援等委託事業（小平市連携事業）

杉山 貴洋・両角 美映\*

活動実績の概要

小平市連携療育委託事業は、市内在住の発達障がい児等の療育の促進と、発達障がいについて理解を深めることを目的として、以下6つの活動を実施している。

活動の意義は、発達障がい児の地域における発達支援、保護者や市民への障害理解の促進、学生の障害理解と実践力の向上などが挙げられる。しかし、2020年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、学内開催による事業実施ができない状況となった。そのため、演劇ワークショップを動画と公民館に変更しての実施、造形ワークショップも9月スタートとして、公民館や福祉会館などに場所を変更しての実施となった。

（1）造形を通して子どもの発達を促すワークショップ

- ①火曜造形ワークショップ：3歳から就学前の幼児を対象に、年10回の実施。杉山ゼミナール主催
- ②土曜造形ワークショップ：小学生を対象に、年9回の実施。学生有志の活動。

（2）演劇を通して大学生との交流を図るワークショップ

小学生を対象に、12月と春休みに実施する。夏休みのワークショップは12月に連動する動画のワークショップとなった。

（3）おやこでたのしむおもちゃとあそびの広場

就学前の乳幼児及び小学生を対象に、年21回実施した。

（4）障がい理解啓発事業

障がいに対する理解啓発を図るための市民講座を年3回実施した。

（5）障がいのある子どもの保護者のネットワークづくり支援（みんなではなそう会）

障がいのある子どもの保護者等を対象に、年17回実施した。

（6）親子でちょこっとテニス

小学校4年生以上の児童とその保護者を対象に、年7回実施した。

\*共同実施者